文教環境分科会

9月16日（午前）　9月16日（午後）

議案第55号　令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

企業版ふるさと納税寄附金の活用状況は

○企業版ふるさと納税寄附金　216万3,000円

【概　要】　鈴鹿市企業版ふるさと納税の寄附金を財源として、小中学校において、特別な支援を要する児童生徒用の機材を充実させるため、備品購入費を計上するもの。車椅子を使用している肢体不自由の児童生徒が階段の昇り降りの際に使用する車椅子用階段昇降機と弱視の児童生徒が教科書やプリントの文字を拡大し、文字を見やすくするための据置型拡大読書器を購入する予定である。

質　疑　寄附をいただいた２社の企業は。

答　弁　株式会社シモデンおよびスガワラくんレーシング株式会社である。

質　疑　寄附をした企業から使途の指定があったのか。

答　弁　両社共に特別支援教育への活用と要望があった。

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

建設予定のクリーンセンターについて問う

○クリーンセンター費　施設整備費　８億8,127万5,535円

質　疑　事業全体の総額はいくらか。また、令和７年度の約９億円はどのような内容に使われたか。

答　弁　建設工事が約50億1,500万円、令和９年度から令和10年度に行う解体工事が約19億1,500万円、令和６年度から令和10年度に行う５か年のモニタリング契約が約１億2,200万円、令和９年度から令和23年度に行う15か年の運営維持管理が約30億3,300万円となっている。これらを合わせた総額は、約100億8,700万円を想定している。今決算額に含まれていない追加の費用である埋設物の杭工事に関する変更金額については精査中であり、また、物価・燃料高騰に伴う物価スライドによる金額変更も合わせて、令和８年12月の定例議会にて補正予算を提案する予定である。令和７年度決算額８億4,690万1,000円については、主に地下工事およびプラント設備の購入費用に充てた。

質　疑　新施設の整備により、従来の施設と比較して処理能力、エネルギー効率、維持管理費、環境負荷などはどのように改善されるのか。

答　弁　処理能力は現施設270キロリットル／日に対し、新施設は140キロリットル／日になる。エネルギー効率は、太陽光発電設備を設置することで電力消費量を削減する。維持管理費は基本計画段階で、し尿処理方式の比較検討を行った。その中で、維持管理費が安価となる浄化槽汚泥対応型処理方式を採用した。これにより、現施設より２割減少できる見込みである。建物規模は、現施設の延べ床面積13,129.5平方メートルに対し、新施設の延べ床面積は4,007.32平方メートルで、３分の１程度になることで、環境負荷はCO_2排出量を約60％削減する予定である。